おやばと

発行所
公益社団法人自衛隊家族会
〒162-0845
東京都新宿区
市谷本村町5-1
(TEL)03-5227-2468
(FAX)03-5227-2473
購読料1カ月一部110円
ウェブサイト
http://www.jkazokukai.or.jp/
メールアドレス
jkazokukai@jkazokukai.or.jp

主な記事

◇国際情勢は不確実な時代の幕開け　1面
◇回報「化学学校　OPCW指定ラボに」　2面
◇論壇「拡大する安全保障危機への対応」　3面
◇「祝　ご入隊・ご入校」特集　8面

シリーズ企画
家族会長等奮戦記　❶面
自衛隊を動かすMC（第9回）、美佐の新国防論、きずな　❷面
米国事情（第59回）　❸面
歌壇・俳壇、健康の扉　❻面
シニアの鉄人「防災への道を歩んで」　❼面

国際情勢は不確実な時代の幕開け
年明けから同盟国・同志国とも連携し各自衛隊は躍動

令和7（2025）年が始まりました。今年は昭和100年、戦後80年の節目の年です。しかしその実状は、力による一方的な現状変更やその試みが続く中、1月20日には、ドナルド・トランプ氏が第47代アメリカ大統領に就任するなど、国際情勢は不確実な時代と云われています。国内的には、1月17日に阪神淡路大震災から30年を迎えました。南海トラフ地震をはじめとする大規模地震や地球温暖化の影響による集中豪雨など、自然災害への備えが求められています。このような中、1月24日に開会した第217回国会で石破茂総理大臣は今年は節目の年であるとして「これまでの日本の歩みを振り返り、これからの新しい日本を考える年にいたしてまいります」と述べています。また、防衛省・自衛隊は、年の初めから同盟国や同志国との連携強化を強く意識した共同訓練などに躍動しています。

12カ国の空挺部隊による「降下訓練始め」（防衛省Web）

11カ国と連携した「降下訓練始め」

1月12日、陸上自衛隊の習志野演習場（千葉県船橋市、八千代市）で陸上自衛隊第1空挺団（団長・若松純也陸将補）と、昨年も参加した米、英、豪、加、仏、独、蘭を含む11カ国の空挺部隊も参加した「降下訓練始め」と地上訓練が行われました。今年は、伊、ポーランド、比、シンガポールの4カ国の部隊が新たに参加しました。

訓練始めでは、第1空挺団や各国の指揮官らをはじめ総勢約200人がパラシュートで降下。その後、外敵からの攻撃に対する離島の防衛を想定した訓練も実施されました。

訓練を視察した中谷元防衛大臣は、ウクライナや中東などで起きている現実を学ぶなどして「可能性からの発想ではなく、必要性からの発想で自らをつくり実現する。こうした主体性が求められている」と述べるとともに「いかなる事態にも任務を完遂できる高い練度と高度の即応性を有する自衛隊を作るためには、全ては任務を基礎に高度を追求し、妥協ない徹底した訓練を隊のレベルを高めることが必要である」と訓示しました。

また、「私も皆さんとともに、国を守る崇高な使命を果たす覚悟です」と述べました。

国際空挺指揮官会議を開催

国際空挺指揮官会議を開催し相互信頼を醸成（陸自Web）

1月10日、第1空挺団では、習志野駐屯地に、11カ国の同盟国・同志国の空挺部隊指揮官を招待して国際空挺指揮官会議を開催しています。

この会議では、若松空挺団長が議長となり、空挺部隊の運用や訓練に関する意見交換などを実施するとともに、12日の降下訓練始めに向けた相互信頼を醸成したとのことです。

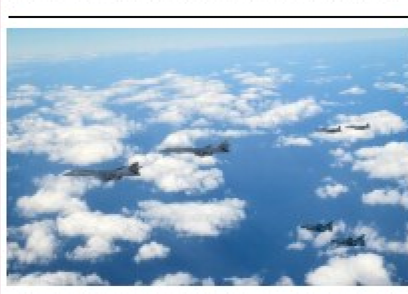
インド太平洋・中東方面派遣部隊活動中（海自）

呉基地を出航する派遣部隊艦船（海幕Web）

1月4日、海上自衛隊の令和6年度インド太平洋・中東方面派遣部隊（指揮官・第3掃海隊司令天野晋介1等海佐）の掃海母艦「ぶんご」と掃海艦「えたじま」は「自由で開かれたインド太平洋」の実現に向けて海上自衛隊の呉基地を出港しました。同派遣部隊の活動は5月10日までの予定です。

この活動は、インド太平洋・中東地域の各国海軍等との共同訓練などを実施し、戦略技術を向上させるとともに、各国海軍などとの相互理解の増進、信頼関係の深化および連携の強化を図り、地域の平和と安定に寄与するとのことです。

日米韓共同訓練（空自）


米空軍機を先頭に編隊を組む（空幕Web）

航空自衛隊は1月15日、九州北西の空域において、日米同盟の抑止力・対処力を強化するとともに、日米韓の安全保障協力の推進を狙いとして米空軍および韓国空軍との共同訓練を行いました。

この3カ国による共同訓練に参加したのは、航空自衛隊の第8航空団（築城）所属のF-2×4機、西部航空警戒管制団（春日）、米空軍のB-1B×2機およびF-16×1機、韓国空軍のF-15K×2機です。

防衛力の抜本的強化を強調
自衛官の処遇の魅力向上にも言及

1月24日、第217回国会が開幕しました。この国会で令和7年度の防衛関係予算も審議されます。

1月24日、石破茂総理大臣は施政方針演説を行い、「一人一人が主導する『楽しい日本』を目指す」と宣言しました。首相は「すべての人が安心と安全を感じ、夢に挑戦し、『今日より明日はよくなる』と実感できる社会」を掲げ、多様な価値観を尊重し合う活力ある国家の実現を訴えました。

施政方針演説（官邸Web）

◇外交・安全保障◇

石破総理は、戦後最も厳しく複雑な安全保障環境に直面する中、わが国の独立と平和を守るための具体策を示しました。「バランス・オブ・パワーに注意を払い、自らの能力を高め、日米同盟を深化させ、同志国との連携を拡大する必要がある」と強調しました。

また、誤解や誤算を避けるため、関係国との緊密な意思疎通を重ねる重要性を訴えました。

防衛力の抜本強化

石破総理は、防衛力を「我が国の安全保障の最終的な担保」と位置づけ、侵攻を阻止・排除する能力を備えた抑止力の強化を進める考えを示しました。

また、国民保護のためのシェルター確保などの取り組みを早急に進める方針を強調しました。

人的基盤の強化

現在の自衛隊員不足の課題に対し、石破総理は「過去に例のない30を超える手当の新設や引き上げを令和7年度から実施する」とし、処遇の魅力向上や若くしての定年退職後の活躍支援を目的とした法案を提出すると表明しました。

南海レスキュー2024
6年ぶり過去最大規模で実施

救難飛行艇を使った緊急患者輸送訓練（陸自インスタ）

1月13日から17日の間、陸上自衛隊中部方面隊（総監・小林弘樹陸将）は、南海トラフ巨大地震を想定した災害対処訓練「南海レスキュー2024」を近畿・中国・四国各地で実施しました。

今回の訓練は、能登半島地震の教訓を踏まえ「孤立地域」への初動対処に焦点を当てた実動訓練で、海上自衛隊の艦艇を洋上の支援拠点とした患者救護・輸送訓練、被災地に生活支援物資を迅速に届ける訓練、航空自衛隊C-2輸送機で美保基地から海自徳島基地に支援物資や車両を空輸する訓練、在日米陸軍UH-60（座間）の支援で淡路島から傷病者や避難者を搬送する訓練などを行いました。

「南海レスキュー」はコロナ禍を経て約6年ぶりの実施で、陸・海・空自衛隊員約1万1千人のほか、26自治体、電力会社など約40社、米軍や豪軍も参加し、過去最大規模となりました。

また、今回の訓練は1月14日から17日に統合幕僚監部主催で行われた「令和6年度（第2回）離島統合防災訓練及び日米共同統合防災訓練」と連携しています。

1月14日には金子容三防衛大臣政務官が徳島県海陽町と高知県東洋町を訪れ、訓練を視察しました。

金子政務官による視察（防衛省Web）

三団体共催賀詞交歓会
石破茂総理大臣も出席

あいさつする石破総理（編集局撮影）

1月15日、ホテルグランドヒル市ヶ谷で「公益社団法人自衛隊家族会」「公益社団法人隊友会」「一般社団法人日本郷友連盟」の三団体共催の賀詞交歓会が開催され、石破茂総理大臣をはじめ約160人が参加しました。

石破総理大臣はあいさつで、昨年10月9日に設置された「自衛官の処遇・勤務環境の改善及び新たな生涯設計の確立に関する関係閣僚会議」について「自衛隊はこの日本国において、もっとも規律が厳正な組織でなければなりません。最も厳正な規律が求められるからには、最も重い栄誉がなければなりません。日ごろの処遇というものが最も重い責任に伴うものでなければならないと思っております。自衛隊に入って、本当に良かったなと、ご本人のみならず、ご家族、ご親戚、周りの方々にそう思っていただく、それをやることが、国家の一番重要な責務であります。私はそのように信じて、止まないものでございます」と12月20日に関係閣僚会議が公表した基本方針の実現の必要性を強調しました。

なお、本三団体の賀詞交歓会に内閣総理大臣が出席したのは初めてのことです。

家族会長等奮戦記　(93)

京都府自衛隊家族会の活動と今後の取り組みについて

京都府自衛隊家族会
会長　小川　清

家族会員の減少傾向は、どの県の自衛隊家族会でも共通の課題だと思いますが京都府自衛隊家族会では、各地区会長が奮闘努力し、ようやくその歯止めがかかりつつあります。京都府の南北に長い地形を考慮し、全地区会が一堂に会して活動を実施するのは不便なため、現在、各地区会長にはそれぞれの地区に合った独自のイベントや行事をお願いしております。

さらに今年は、いくつかの新しい試みに挑戦したいと考えています。

まず、家族会内で「さまざまな話し合い」の場を設けたいと思っています。現役自衛官やその家族にとって、普段は話しにくい問題もあるかと思いますが、話し合いの場を持つことで、隊員や家族のために実のある意見交換ができれば、問題解決の一助となると考えています。

例えば、隊員家族にとって関心の高いハラスメント問題についてです。部隊内では防止教育が行われており、親としてその重要性は理解していますが、自衛隊の特性ゆえに、子供が直面する厳しい状況や、やむを得ない指導方法に不快感を覚えることがあるのも現実です。この問題は理事会や役員会でも議論されていますが、依然として懸念が残っており、米軍の事例や資料を参考にしつつ、自衛隊の立場を踏まえた議論が必要です。

次に、家族会として体験的な活動を充実させることが重要です。

駐屯地からの支援を得て、家族支援の会合時に部隊見学や隊員食の体験を行いたいと考えています。こうした体験を通じて、会員が実際に活動に触れ、自衛隊について理解を深めることができます。

府家族会では、毎月第3金曜日に集会を主催しており、ジビエ会も年に7回程度実施していますが、参加人数が減少し、同じメンバーが集まりがちです。

また、各地区会では部隊見学や懇親活動を行っているものの、新規加入者が積極的に参加できる地区もあれば、高齢化により活動が低迷している地区もあります。

共通している点は、普段忙しい会員が参加するには、興味を引く催しを企画する必要があるということです。

駐屯地などでの活動も重要な機会のひとつです。駐屯地などが一括して顔合わせや意見交換、見学などを企画していただける場合、参加者が増える可能性が高まります。

こうしたイベントを通じて、会員同士が互いに熱意を共有し、活動の活性化を図ることができます。地域全体にアピールできる企画として、近隣の知り合いを誘うことも可能です。

また、家族会のお母さん方の協力も大切です。広報活動において、お母さん方は最も身近な広報官として活躍していただいております。

お母さん方の一日体験入隊も計画していますが、実現には多くの課題があります。参加者に安心感を与え、理解と協力を得るための方法を慎重に検討し、実行に移すことが必要です。

今年は、これらの試みを通じて、京都府自衛隊家族会がさらに強い結束を築き、会員の活動への参加意欲を高め、周囲の人々にもその魅力を伝えていきたいと考えています。

8面に「祝　ご入隊・ご入校」特集

YouTube
自衛官募集チャンネルにおいて動画公開中！
【隊員の日常（幹部自衛官）】
【自衛官募集ホームページ】
http://www.mod.go.jp/gsdf/jieikanbosyu/
知られざる女性隊員の日常

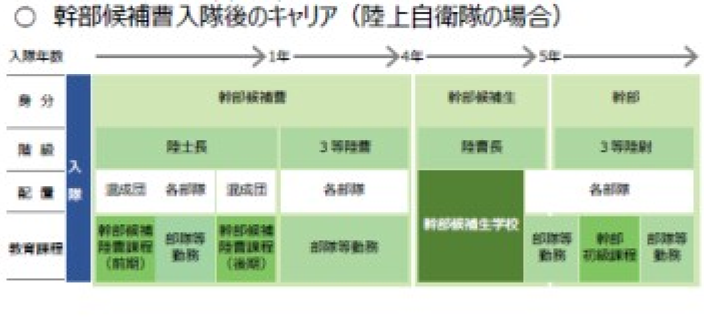
令和7年3月1日より受付開始

第1回一般幹部候補生採用試験のご案内
『自衛隊の総合職』、組織の中核として活躍

○　一般幹部候補生とは
・防衛大学校卒業者と同様に最速（採用2年目）で幹部自衛官に任官する採用種目で、『自衛隊の総合職』、組織の中核としての活躍が期待されます。
・今年度より、陸上自衛隊を希望される方のみ専門分野（情報・デジタル・研究開発・法務）の試験を選択することができ、採用された場合、キャリアパスは専門分野に応じたものになります。
○　受験資格
令和8年4月1日現在、22歳～26歳（修士課程修了者については28歳）未満の者
○　処遇
・採用時
273,600円～290,400円
・幹部任官時（採用2年目）
296,100円～314,900円
○　第1次試験日
令和7年4月12日　筆記試験
令和7年4月13日　筆記式操縦適性検査（飛行要員のみ。）
○　一般幹部候補生と幹部候補曹の同一回の試験における併願は、同一区分（陸・海・空）に限り可能です。

第1回幹部候補曹採用試験のご案内
『現場における司令塔』ミドルリーダーとして活躍

○　幹部候補曹とは
数年間の曹としての勤務を経て将来幹部として活躍する者を採用する制度です。
一般幹部候補生とは異なり、各職種等部隊での曹としての勤務を通じ、知識・技能を磨き一定の経験をもって幹部候補生学校に入校し幹部に任官します。
○　受験資格
令和8年4月1日現在、20歳以上33未満の者
○　処遇
・採用時
235,000円～252,600円
・幹部任官時（採用5年目）
299,000円～303,200円
○　第1次試験日
令和7年4月12日　筆記試験
○　幹部候補曹入隊後のキャリア（陸上自衛隊の場合）



入隊年数	入隊 → 1年		→ 4年		→ 5年		
身分	幹部候補曹				幹部候補生	幹部	
階級	陸士長		3等陸曹		陸曹長	3等陸尉	
配置	混成団	各部隊	混成団	各部隊	幹部候補生学校	各部隊	
教育課程	幹部候補陸曹課程（前期）	部隊等勤務	幹部候補陸曹課程（後期）	部隊等勤務	幹部候補生学校	部隊等勤務	幹部初級課程　部隊等勤務

※受験資格、試験内容等の細部については 自衛官募集ホームページでご確認いただくか、最寄りの地方協力本部にお問い合わせください。

HOTEL GRAND HILL ICHIGAYA　防衛省共済組合 直営施設 ホテルグランドヒル市ヶ谷
Family Plan
ご家族で結婚式をご検討中のお二人に贈る限定プランです
大切な方々にグランドヒル市ヶ谷自慢の料理でおもてなしいたします
特典
◎衣裳定額制プラン（新郎1点・新婦1点）　150,000円(税込)
◎婚礼料理　24,200円 → 18,700円(税込)
◎ウェディングケーキ入刀演出　100%OFF
◎サービス料対象項目　10%OFF
【適用条件】2025年3月31日までに20名様以下の挙式・披露宴を行う方
ご家族だけの結婚式なら、準備期間1カ月でも受付可能です。
詳しくはブライダルサロンまでお問合せください
ブライダルフェア 随時開催中！ ご予約はこちらから
ブライダルサロン直通 TEL 03-3268-0115 【受付時間】平日 10:00～18:00 土日祝 9:00～18:00 【定休日】火曜日　東京都新宿区市谷本村町4-1　https://www.ghi.gr.jp　E-mail：salon@ghi.gr.jp